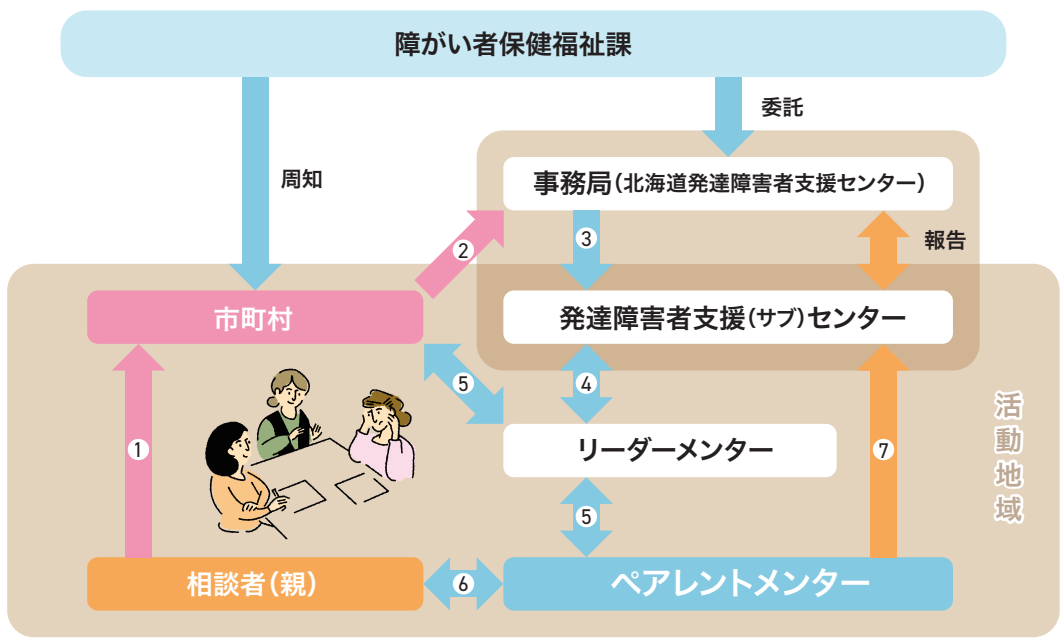


相談対応の流れ

業務内容

- 1 ペアレントメンターの活用を希望する場合は、市町村・事業所等に連絡してください。
- 2 市町村・事業所等は、申込受付窓口(事務局)に申し込んでください。
- 3 事務局から、申込のあった地域の発達障害者支援(サブ)センターに連絡します。
- 4 発達障害者支援(サブ)センターと地域のリーダーメンターとで協議して、活動者名簿を基に派遣するペアレントメンターを決定します。
- 5 地域のリーダーメンターは、ペアレントメンターと依頼元市町村等に連絡し、相談の日時等について調整します。(依頼元市町村等は、相談希望者へ日時等を連絡してください。)
- 6 ペアレントメンターが相談対応を行います。
- 7 相談対応後、ペアレントメンターは、発達障害者支援(サブ)センターを通じて、事務局と市町村に活動を報告します。

フロー図



ペアレントメンター事業は、北海道が業務委託して実施しています。ペアレントメンターはベーシック・フォローアップ研修を修了し、「北海道ペアレントメンター」として活動します。

ペアレントメンターを支える専門家・機関

室橋 春光 先生 (北海道大学名誉教授)

山本 彩 先生 (札幌学院大学准教授)

齊藤 真善 先生 (北海道教育大学札幌校准教授)

北海道発達障害者支援センターあおいそら、きたのまち、ノット (knot)

制作：北海道

監修：室橋 春光 先生

(北海道大学名誉教授)



発達障がいのある子どもを持つ保護者支援

ひとりで悩まずに
ペアレントメンターに
相談しませんか？



PARENT
MENTOR

北海道保健福祉部

みんなどんなことで
悩んでいるのでしょうか？

発達障がいで
言われたけど・・・

あれ・・・？
少し、みんなと
違う気がする

なんとなく
育てにくい・・・

園・学校の先生から
「相談に行ってみては」
と言われた・・・

毎日が不安・・・



学校にどう伝えればいいのかな・・・

忘れ物が多い

学校の先生と
うまくいかない

医療機関や相談機関には
足が向かない

学齢期

- 青年期の支援はどのようなものがあるのか？ 本人は自己理解できない
- 仕事が続かない。
どこに相談に行けば良いのだろう

今頃になって親子ともども、
この先どうすれば良いのか
途方にくれている

青年・
成人期

- 父親が、障がいと認めない
- 祖父母や親せきにどう言えば良いのか

父親が母親を責める

その他

幼児期

目を離すと一人で
どこかに行ってしまう

園児が集団で遊んでいるそばで
一人で遊んでいる

先生の全体への声かけで、
一人だけ違う方向を見ている

こんなことで悩んでいるのは私だけ？

いえいえ、先輩親たちは、
同じように悩んでいました。

「私だけ」ではありません。

ひとりで悩まずに
ペアレントメンターに
相談しませんか？

ペアレントメンターとは？

ペアレント（親・保護者）メンター（信頼のおける相談相手）という意味です。
診断を受けたばかりで不安に感じている、日々の子育ての中で迷っていること、
疑問を持っている親御さんに寄り添い共感し、必要に応じて情報の提供をします。

お話にじっくり耳を傾けます。

否定的・指導的なことばは言いません。

必要に応じて、支援内容や関係機関のご紹介などをします。

ホッとした気持ちで帰ってもらえるように努めます。

ペアレント
メンターから
一言

